令和２年（2020 年）７月 27 日
豊中市立第十三中学校 学校だより

Team13

校訓「自主・創造・敬愛」

ホームページ URL　http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh13/

テストの返却がありました。その後が肝心です

期末テストが終わり、本日からテストの返却が始まっています。感染症による長期休業の時は１人で学習を続けることが大変でしたね。今日から採点された答案が返ってきます。１年生は初めての定期テストでした。とりわけ返却時はきっとドキドキしているのだろうなと思います。

みなさん、テストは一体何のためにあると思いますか。

テストの最も大きな目的のひとつは、日ごろの学習の中で理解が足りていなかった内容を自分自身が把握することにあります。一番よくないのは、テストの点数だけを見て「やったー」とか「全然あかんかった」とか「平均点より上や、下や」だけで終わってしまう事です。それではテストの目的は全く達成できていません。せっかくテストに取り組んだのだから、テストの結果を充分に生かしてほしいと思います。

テストの目的は、各教科の内容で理解できていなかったところをしっかりやり直しするためです。テスト問題にはその単元の中の学習で重要なポイントが必ず含まれています。今回マルがついた問題でも、やり直すことで知識が定着し理解が深まり、より早く解けるようになります。できなかった問題については、そこを理解しないと次の単元の理解が難しくなるということもありますので、しっかりやり直しをして理解しておくことが必要です。とくに日頃の勉強をさぼっていて、テスト前の数日間で必死になって勉強してテストに臨んだ人は、テストの時には残っていた記憶はどんどん失われてしまいます。テストでは〇でも、いま同じ問題をやってもできないかもしれませんよ。

それから、皆さんには、こんなことはありませんか？

・理解したつもりになっていたけど、勉強不足で問題が解けなかった。
・わかっていたんだけど、うっかりミスが多いな。
・この単元は何だか苦手だな。前の単元は好きだったけど…。

・選択問題はできても、記述式の問題はうまく書けないな。
・答えを書いてマルだったけど、答えを出した理由が自分でもよくわからない。
・自分はどうも理科や数学が好きで、社会や国語は少し苦手かも？
・今までの勉強方法は、自分に合っていないのかな？

テストを通して自分自身の強い部分や弱い部分を知るのです。そして自分に一番合った勉強方法を見つけるのです。（例えばノートに書いて勉強するのか、何回も読んで勉強するのか、動画を見ると理解しやすいのか、図にまとめ関連付けさせながら理解するのか、、など。）難しい言葉ではこれを「メタ認知」と言います。得意分野をどう伸ばして、苦手分野をどう克服するのか、テストのたびに自分を振り返ってみてください。情報革命と言われる今の時代は、新しいことや新しい考え方を一生学び続けることが必要な時代です。自分を知り効果的な勉強法がわかれば、それは一生の宝物になります。
そのようなことをしっかり考えられれば、今回点数が多少悪くてもいいのです！

平均点をお知らせします

保護者の皆さまへ
第十三中学校では、テスト返却の数日後に度数分布表を配布しております。また各教科の平均点もお知らせしています。

平均値はひとつの指標ではありますが、その数値がすべてではありません。それよりも、前述したように子どもたちには自分の学習を少しずつでも改善していく気持ちを持ってほしいと願っております。お子さんには単に平均点を上回った、下回ったという見方ではなく、自分自身で定着した内容や理解しきれていない部分がどこであるかをしっかりと見つめ直すようにお話しください。
すべての子どもが「平均点を上まわる」ようどんなに頑張ったとしても、全員それがかなうことは理論上不可能です。また、このことは情報リテラシーという面からも大切なことであると思います。平均値にしても、中央値にしても、通知表の評定にしてもそうですが、ひとつの数値だけに代表させて学力をみる、ということは大変危険であるように思います。

また、テストの結果だけを強調しすぎたり、そうでなくても子どもが自分自身をプレッシャーで縛りつけてしまったりすることによって「点数が良くない自分はダメな人間だ」と感じ、テスト時や答案返却時に不正行為までしようとする生徒も時々見受けられます。（万一不正行為が発覚した場合は、保護者の方にもご連絡するとともに、しかるべき措置をいたします。）子どもたちがテストの点数だけにこだわるのではなく、学習内容の理解の現状を正しく把握したうえで、今後の改善に役立てることができるようにご家庭でもお話しください。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大に注意

このところ再び新型コロナウイルス感染症が拡大しています。豊中市内の学校でも感染者が出ています。本校においては十分に感染拡大に留意して教育活動を進めてまいります。

もし学校の誰かが感染症にかかったことが分かった場合、学校医、教育委員会との協議により措置が決まりますが、原則として次のような措置となります。

- 学校全体は消毒のため数日間（２日程度が多いようです）臨時休業となります。
- 保健所が濃厚接触者を特定し、最終接触から２週間程度出席停止
  （濃厚接触者が学級生徒数の 15%を超えると学級臨時休業となります）
- 市では学校名の公表がなされます。校内ではインフルエンザの時と同様に連絡メールでクラスをお知らせします。個人名はお知らせしません。
- 教職員の場合も同様ですが、業務内容をふまえて臨時休業の範囲等が総合的に判断されます。

誰がかかったとしても守ってほしい

感染症は誰がかかっても不思議ではない状況になっています。もし誰かがかかってしまった場合、その人の個人情報や無責任なうわさを流すようなことはしないでください。感染症にかかったからといって、差別されたり攻撃されたり、いやな噂を流されたりする理由はありません。もしかしたら自分がかかっていたかもしれないと考え、その人の立場になって考えてみてください。感染症から回復した後に学校に登校することがごく普通にできるように、みんなでその環境を作る必要があります。

感染症対策として

（1） 生徒総会をオンラインで行いました

生徒会執行部からの方針の説明、各委員会からの活動計画などが示され、各クラスからは活発に質問がでました。

初めての試みでしたが、むしろオンラインの方が体育館で行う生徒総会より質問しやすいような感じもありました。質問はたくさんありましたが、異議は出ませんでしたので方針案が承認されました。

（2） 音楽の授業ではギターに取り組んでいます。

唾液の飛沫が飛ぶことで感染が広がるとされていますので、合唱がしにくい状況です。音楽室をのぞくと皆ギターを抱えてつま弾いていました。収束したら早く歌を歌いたい！！という人も多いことと思います。

（３） オンライン授業の準備をしています

学級単位の臨時休業になった場合、そのクラスだけ２週間授業が遅れてしまうことになります。それを避けるためにオンライン授業の実施を検討しています。

７月 17 日に１年５組では生徒の自宅と接続し、オンライン配信の試行をしてみました。PC、タブレット、スマホ、各自それぞれの端末で参加してくれました。前日には PC 教室で全員が ZOOM につなぎ、TV 会議システムの練習をしたためか、比較的スムーズに接続することができたようでした。半数近い生徒がそれまでにも TV 会議システムの経験があったようです。生徒の感想を紹介します。

- 少し声が聞こえなかったり画像がカクカクしてしまったけれどみんなが喋っているのがよくわかりました。ズームでみんなが喋れるような授業だったらいいなと思いました。
- 人が話している時みんなミュートになっていたので 騒がしくなくて一人の話を集中して聞けて良いと思いました。楽しかったです!！
- スムーズに入れた。いろんな人が喋っていて授業はできると思いました。けどスマホだと画面が小さいので見にくいと思います
- これを機にズームの授業を取り入れて欲しいと思いました。
- マスクを外した皆の顔が見れたのでよかった。色々な意見を出し合って楽しかった。チャットなどで助け合いができててよかった。スムーズに入れた。
- 普通の授業ぽい感じで良かったと思います。スムーズに入れたけど３回から４回ぐらい高温のためアプリを強制終了しましたとなった。
- 学校よりは発表しにくいけど、発表したらチャットでいいねとメッセージなどが来るので普段あまり話してない人でもチャットで話せたのがとても良かったと思いました。
- いつもの授業より楽しく感じました。これで本格的に授業をしたらどうなるのかと想像するだけで笑みがこぼれます。でもたまに止まった場面がありました。

※ <u>８月末までに、できるだけたくさんのクラスで ZOOM 配信の試行をする予定にしています。</u>

（４） 毎朝家を出る前に検温をして、健康観察カードに記入を

毎朝の検温を忘れている人が以前より少し増えているように思います。面倒ですが、家を出る前に体温を測って健康観察カードに記入していただき、持ってきてください。トイレ掃除や消毒も引き続き行ってまいります。